

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

発行日：毎月 10 日・20 日・月末  
創刊日：1999 年 12 月 8 日  
編集 / 発行：橋本 啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

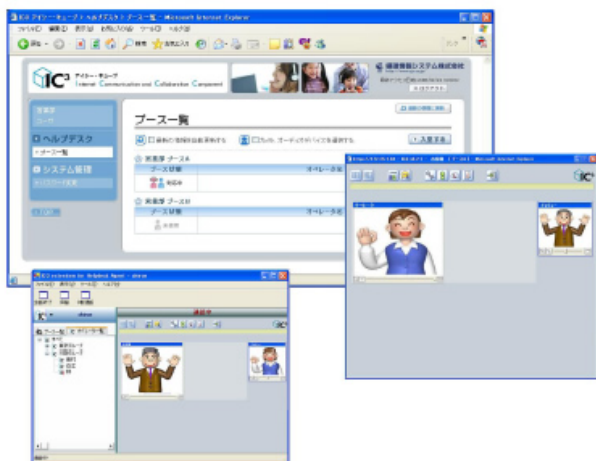
Vol. 8. No.13 2006 年 5 月 10 日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2006 CNA Report Japan. All rights reserved.

## ニュース項目

### 蝶理情報システム、ヘルプデスク向け IC<sup>3</sup> オプションの発売開始



#### IC<sup>3</sup> extension for Helpdesk

蝶理情報システム株式会社(大阪府大阪市)は、Web コラボレーションシステム開発コンポーネント「IC<sup>3</sup>(アイシーキューブ)」のオプション製品「IC<sup>3</sup> extension for Helpdesk」の販売を開始。

IC<sup>3</sup>は、Web 会議、リモートメンテナンス、e ラーニング、オンラインサポートなど遠隔地を結び複数人で共同作業(Web コラボレーション)を可能とするシステムを開発サポートするためのコンポーネント。

今回販売開始することになった IC<sup>3</sup> オプション製品「IC<sup>3</sup> extension for Helpdesk(アイシーキューブ エクステンション フォー ヘルプデスク)」は、IC<sup>3</sup> サーバー上で動作する Web アプリケーションで、IC<sup>3</sup> と組み合わせることにより、にコールセンターやコンタクトセンターで行われているオンラインサポート業務にビジュアルコミュニケーションやPCの遠隔操作などの機能を付加することが可能になる。

主な機能としては、(1)オンラインヘルプデスクシステムの構築。データの管理にはデータベースを使用するが、ソ

フトウェアは製品に同梱。利用可能な言語は日本語。(2)顧客対応ブースの管理機能。ブラウザから簡単に顧客対応を行うブースの予約や変更、入退室を行うこと、グループ単位でルーム(ブース)やユーザー(オペレータ、一般ユーザー)を作成することが可能。(3)オペレータ向け機能。オペレータは、2通りのユーザーインターフェイス・機能を使い分けることができる。ブースへの入退室、サポート画面などをすべてブラウザから利用できる「Web ブラウザインターフェイス」と、他のオペレータへの発信、保留、転送、第三者通話などの機能が利用可能な「クライアント常駐型アプリケーションインターフェイス」がある。(4)一般ユーザ(サポート対象者)向け機能。一般ユーザーは、Webブラウザを利用してヘルプデスクシステムにログインし、ブラウザから映像、音声、アプリケーション共有などを利用したサポートを受けることができる。

#### 米 Compunetix 社、日本事務所を開設、大型多地点接続装置を国内大手サービスプロバイダーへ導入

音声会議、ビデオ会議システム用多地点接続装置を開発する米 Compunetix 社(コンピュネティクス)は、日本事務所を開設したことを発表。この新拠点を開設することにより、同社が築き上げてきた日本の顧客に対するより強力なサポートの提供とともに、更なる日本市場の開拓を図っていく。

同社アジア・パシフィック・ビジネスの責任者である Don Kordick 氏によると、同社が提供している大型の多地点接続装置 ORCHESTRATOR を日本国内最大手のサービスプロバイダーに導入した。今後日本での顧客が必要とする高度なサービスを提供するためのより強力な体制が必要と考えるとともに、世界でも第二位の経済大国である日本でのオフィス開設は、Compunetix 社の今後のビジネス展開において、重要な

戦略的ステップと見ている。

今回の日本事務所開設にあたって、同事務所の代表には、株式会社ジェイ・ティ・エス(神奈川県横浜市)代表取締役社長 小嶋知二氏が就任する。同氏は、電気通信事業業界で 25 年以上の豊富なキャリアを持ち、その経験を生かして、同社では現在、海外企業の日本市場進出を支援する Smart Japan Office を展開、同ソリューションを海外企業へ提案してきた。Smart Japan Office は、物理的なオフィスのセットアップや国の規定などにとらわれることなく、ローリスク・ローコストで即座に日本市場でオフィス機能を提供するコンセプトのソリューション。

CompuNetix 社は、世界 25 カ国以上に 30 万ポートの導入実績がある。本社は、米国ペンシルベニア州モンロービル。(CNA レポート・ジャパン Vo.5 No.2 2004 年 12 月 31 日号 インタビュー)

## LifeSize Communications 社、ファイアーウォール/NAT トラバーサル(超え)製品を発表

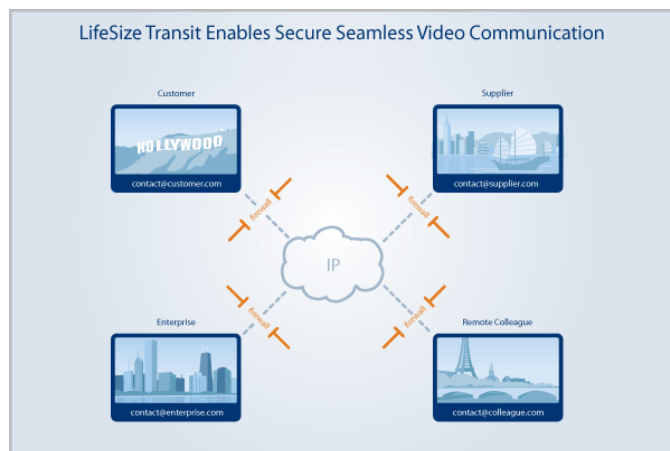


### LifeSize Transit

米ビデオ会議メーカーLifeSize Communications 社は、ファイアーウォール/NAT トラバーサル(超え)機能を提供する製品「LifeSize Transit (ライフサイズ・トランジット)」を発表。

企業内のイントラネットから外部へのインターネットへ(あるいは逆)のビデオ会議通信は、ファイアーウォールのポートを開ける、固定IPアドレスとプライベートIPアドレスの変換などから、通常セキュリティの問題や、複雑な設定等が必要になるが、それらの環境でも特別な設定を行うことなく簡単にビデオ会議システムの設置、ビデオ会議による通話が

可能になる。



### FW/NAT を超えたビデオ会議セッション

今回 LifeSize Transit に関連する製品は、「LifeSize Transit Server」、「LifeSize Transit Connector」、「LifeSize Transit Client」の三種類がある。

LifeSize Transit Server は、プラグアンドプレイ式の SIP ベースのアプライアンスサーバー。URI (Uniform Resource Identifier、インターネット上の情報資源の位置を示す記述方式。)によるダイヤリングを含め、シグナリング、メディア及びレジストラサービス機能を提供する。

LifeSize Transit Connector は、ルームタイプのビデオ会議システム「LifeSize Room」に内蔵されているソフトウェアで、ファイアーウォール/NAT トラバーサル(超え)機能をクライアント側からサポートする。

LifeSize Transit Client は、LifeSize ビデオ会議システム以外、つまり他社製のビデオ会議システムが、LifeSize Transit を使った、ファイアーウォール/NAT トラバーサル(超え)通信を行うためのソフトウェア。

LifeSize Communications 社は、今月頭今回のソリューションについて、Paradial 社と協同で開発すると発表しているが、LifeSize Transit が製品化したもの。

LifeSize Transit の北米での価格は、LifeSize Transit Server は、11,995USD、LifeSize Transit Client は、5,995USD、また、LifeSize Transit Connector は、LifeSize Room に費用的に含まれているとなっているが、日本でのリリース及び価格等

については、CNA レポート・ジャパンとしては未確認。

### トヨタ・オーストラリア社、ポリコム端末によるビデオ会議システムによる社内コミュニケーションの効率化を図る

トヨタ・オーストラリア社は、ポリコム端末による社内ビデオ会議ネットワークの強化を図った。トヨタオ・オーストラリアの新たな本社が豪州ビクトリア州に設置され(ポートメルボルン本社)、それに併せて、22 台のポリコムのビデオ会議システム端末を設置。それらの内の3台は、VSX シリーズの端末。

オーストラリア国内だけでなく、日本の本社などとのビデオ会議によるミーティングなどに活用する。

トヨタ・オーストラリアの役員室には、4つのカメラが設置され20人規模の参加のビデオ会議ミーティングでも参加ができるシステムを、また、本社ビルにある講堂にもビデオ会議システムが設置され500人規模の参加者がビデオ会議を使った製品の発表などが行えるようなシステムを構築した。さらにそれら以外の会議室にも2つのカメラと1台のスクリーンを設置し、映像とデータ共有が行えるようにした。ビデオ会議でのミーティングの予約は、Polycom MGC-25(多地点接続装置)を使って予約できるようにする。また、今回ポリコム端末の導入を行ったポリコム社のパートナーVantage社がヘルプデスクサービスを提供。

ポリコムはトヨタ・オーストラリアに対して過去5年間ポリコム端末を提供してきたが、今回のための導入プロジェクトは、2004年4月に初めて立ち上げて今回の導入に至った。今後は、トヨタ・オーストラリアによると、MGC-25のキャパシティを増設しより多くのユーザーが使えるようにすることと、トヨタ・オーストラリアのシドニー拠点をIPネットワーク化し、ビデオ会議や音声会議端末の設置などを検討するという。

### Codian の MCU、Polycom Siren14 をサポート

英の MCU (多地点接続装置) 専門メーカーである

Codian 社の発表によると、同社の MCU がポリコムの Polycom Siren14 (G.722.1 Annex C) をサポートしたと発表。

Siren14 は、2005年5月14日にITU-Tにて、国際標準音声符号化方式 G.722.1 Annex C として承認。14kHz の音声をサポートしているため、CD 並の高音質音声を提供している。



### CODIAN MCU 4200 シリーズ

Codian 社の MCU は、ビデオ会議メーカーとの相互接続性を重視しており各社の端末をサポートしているが、今回ポリコムの Polycom Siren14 もサポートすることになった。

また同時に同社の MCU での多言語サポートも発表。英語の他には日本語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語もサポートする。

### Arel、ウェブ会議システムの機能強化 マイクロソフトとの連携強化など

イスラエルのウェブ会議システム開発ベンダー Arel Communications and Software 社は、同社が提供する、ウェブ会議システム「Arel Anyware (アレル・エニウェア)」の機能強化を発表した。

今回の機能強化では、Microsoft Office Live Communications Sever 2005、Microsoft Office Communicator との統合、オンラインセミナーなどが行える Webinar モジュール、ファイアウォール/NAT 越え機能、一般回線や VoIP 回線との統合などが主な内容。

Microsoft Office Communicator との統合では、Microsoft Office Communicator から Arel Anyware のウェブ会議セッションを開始することが可能になる。

また、一般回線や VoIP 回線との統合では、それらの回線から Arel のウェブ会議セッションへ参加が可能になる。Arel

Anyware は、回線が狭帯域であっても、16 ウィンドウを同時表示が可能。

## Skype、100 人まで同時に音声通話が行える Skypecast を発表

Skype は、100 人まで同時に音声会話ができる「Skypecast(スカイプキャスト)」のプレビュー版サービスを発表した。

Skype ソフトウェアをインストールした PC とインターネット環境があればどこからでも参加ができる無料のサービス。

そのホストは、参加者の音声のミュート(音消)、参加者の拒否、バーチャルマイクを発言者へ渡すなどのことが行える。Skype としては、興味のある趣味などを通して人々が Skypecast に集まり音声会話が行えることを考えている。

また同時に、Skype ソフトウェア 2.5 ベータ版を発表。ペイメント機能の内蔵、簡単にダイヤリングできる機能、通話接続クオリティマネージメント機能などが追加されたが、電話会議機能では、発言者の写真が点灯する機能もついた。

## ショートニュース項目

◆米ポリコム社は、Skype 用の USB タイプスピーカーフォン「Polycom Communicator」を発表。同製品は、Skype での VoIP 電話やビデオチャット、あるいは PC にインストールされている各種アプリケーション用にも使える。Skype Certified (Skype 社認定)。手のひらに乗る PDF サイズの大きさ。全二重ハンズフリーで、22Khz までサポートしたワイドバンドの音声品質を提供する。電源は、USB から供給。

◆米ポリコム社は、2006 年 5 月 1 日米 NASDAQ 市場上場 10 周年とともに、1992 年に発売した同社の音声会議システム端末 SoundStation の出荷台数が 200 万台を超えたと発表。

◆コラボレーションソフトウェア「WebArrow」を開発する株式会社ナムザック・ジャパン(東京都千代田区)は、KIT システムズ株式会社(旧:川商インフォメーション・テクノロジー株式会社)と WebArrow 販売に関する代理店契約を締結。

## プロダクトレポート



### WebDialogs, Inc. プロダクトレポート (ウェブダイアログス)

#### WebDialogs 社について

WebDialogs 社の本社は、ボストン。1997 年設立。ウェブ会議システムと Skype 向けのウェブ会議機能プラグインソフトを開発している。市場参入は、2002 年。現在は、未公開企業だが、事業は順調に拡大している。事業は、チャンネルパートナーとの協業により展開。現在は、70 のホールセールブランドとともに、会議サービスプロバイダー(CSP)は 40 社、OEM パートナーは 4 社と、常にパートナーの事業の成功にフォーカスした考えを元に、それぞれ協業している。

#### 製品開発フィロソフィー

製品開発にあたっては、単にウェブ会議システムのソフトウェアを開発するという考えではなく、企業の“コミュニケーション・インフラストラクチャ”を開発し提供していくことを基本フィロソフィーとして持っている。

そのままユーザーに提供するのではなく、ユーザーのニーズにあった機能の適切な組み合わせを行うとともに、操作が簡単であるということを重視しながら、見た目の機能や操作性だけでなく、その背後で動作するシステムのコアの部分において、つまり、他の技術とのインテグレーションや、サービスカスタマイズ、そしてエクステンシブ・ブランディングに注力して開発を行っている。

製品提供方法については、ソフトウェアライセンス方式と ASP ホスティングサービス方式、そして、パートナーやユーザーのニーズに柔軟に対応した価格体系をベースに製品を提供している。

## 提供している製品

現在、WebDialogs 社で提供している製品は3種類。



(1)「Unyte(ユナイト)」。Unyteは、インスタントメッセージング、チャット、プレゼン

向けのアプリケーションおよびデスクトップ共有機能を提供するソフトウェア。Skype 用プラグイン(Skype Certified 済み)と同時に、スタンドアロンソフトとしても機能する。「Unyte」と「Unyte Plus」がある。Unyte Plus は有料サービス。インテグレーション用の SDK も提供している。



(2)「Meeting Central(ミーティングセントラル)」。企業向

けの音声及びウェブ会議システム。「Executive(エグゼクティブ)」、「Enterprise(エンタープライズ)」、「Express(エクスプレス)」の3種類がある。

(3)「WebInterpoint(ウェブインターポイント)」。CSP 及び OEM パートナー向けのウェブ会議システム。WIPOne(WebInterpoint One)と WIPPro を提供。インテグレーション用の API(アプリケーション・プログラム・インターフェイス)と SDK を提供している。

これらの製品の特徴は、簡単にウェブ会議機能を開始できる、インスタントメッセージングからウェブ会議セッションへのシームレスな移行が可能などある。

## Unyte について

Unyte は、インスタントメッセージング、VoIP(IP電話)、チャットなどのツールとシームレスにインテグレートでき、PCにあるドキュメント、プレゼンテーション、アプリケーション共有と、デスクトップのリモートコントロールの機能をウェブブラウザと連動して提供している。インスタントメッセージング、VoIP(IP電話)、チャットから共有セッションへの移行をシームレスに行うことが可能。Skype ユーザーだけでなく、Skype ユーザーでなくてもこの Unyte は利用できるソフトウ

エア。

この Unyte は、1対1でのドキュメントなどの共有は無料で使えるが、それ以上の機能は有料サービスの「Unyte Plus(ユナイトプラス)」として提供している。Unyte Plus は、1対4までの共有、アノテーション、セッションレコーディング、リモートアクセスなどの機能も使えるようになる。SDK やカスタマイズも可能で、アフィリエイトプログラムも提供している。

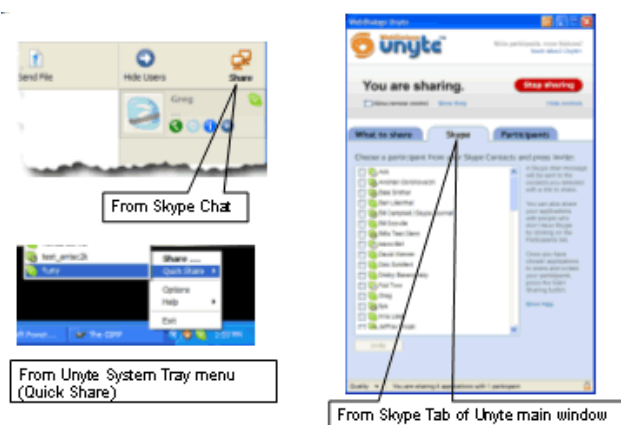
想定している Unyte の利用方法は、共有したドキュメントに対して協同作業、セールスプレゼン、プロジェクトミーティングなどのビジネス的な使用方法、子供の宿題を一緒に行ったり、次の休みの計画を立てたりといったパーソナルな使用方法もできる。また、リモートコントロールでは、他の国にいる開発担当者のデバッグをリモートで協力する、同僚やクライアントなどのPCの問題を解決する、リモートからノートPCで自分のデスクトップ PC にアクセスするなどの使い方もある。

システムの要件は、ホスト側は、Windows 2000/XP。ビューアー側(共有資料を見る側)は、Windows や MacOS などの Internet Explorer、Firefox、Safari のブラウザから Unyte の共有資料を見ることが可能。

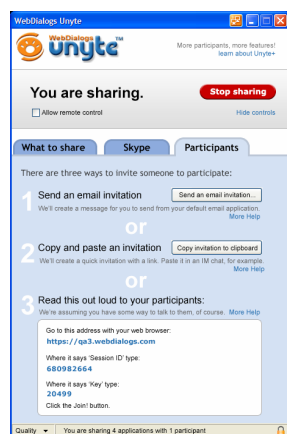


チャットから Unyte を開始。チャットに Unyte 用の URL が表示されるため、それをクリックすると Unyte のセッションが始まる。

(次ページへ続く)



Unyte は、Skype のプラグインとして使うと、Skype のメニュー画面に Share のアイコンが表示されるとともに、Windows のシステムトレイメニューに常駐で表示される。



また、Skype とは別に Unyte を単独で使う場合は、Unyte にログオンし、左側の画面が表示される。そして、Unyte 共有用の画面のための URL を電子メールで参加者に通知、その URL をワンクリックしてログオンすれば、その Unyte の共有画面が表示され、協同作業のセッションが始まる。



左の画面では、セッションで共有するアプリケーションを選択する。PC にあるアプリケーションあるいは、デスクトップ画面を共有する、リモートコントロール操作の選択はこの画面で行う。

インターネットアクセス、PC、そしてブラウザがあれば、

Skype がなくても Unyte の共有セッションは可能。

## Meeting Central について

Meeting Central は、ユーザー向けのブラウザベース

のウェブ会議 ASP サービス。ミーティングセッションの予約が不要。北米での提供は、音声部分については、フリーダイヤルの音声会議システムとセットで提供されている。コンファレンスIDを使いサービスを利用する。

Meeting Central は、WebInterpoint ウェブ会議システムをサービスプラットフォームとして提供されている。

会議セッションの参加は、PC、ブラウザ、インターネット接続があれば可能で、ホスト(会議主催者)や会議参加者としてウェブ会議を主催したり、会議に参加したりということが可能。

ブラウザベースのウェブ会議のため、使用の仕方を覚えるためのトレーニングはほとんどない。誰でも簡単に使いこなせるユーザーインターフェイスを持つ。

機能は、Microsoft PowerPoint などのドキュメント共有、アプリケーション共有(一つのアプリケーションあるいは複数のアプリケーション)、ミーティング管理ツール、音声とデータ共有部分のレコーディング機能などが提供されている。

ミーティング管理ツールは、会議セッション中のポインタ、挙手、投票、レコーディング、ナビゲーション、オーディオキャスティングなどのための機能。

Meeting Central は、利用形態によって、3種類のサービスを提供している。

(1)「WebDialogs Executive」。オペレータ事前予約の不要なサービス。競合他社の 1/3 の価格でサービスが北米では提供されている。

(2)「WebDialogs Enterprise」。従量課金、定額制などニーズに合わせた課金方式を選択可能。

(3)「WebDialogs Express」。音声部分は、フリーダイヤルで利用できるセルフサービスのウェブ会議サービス。

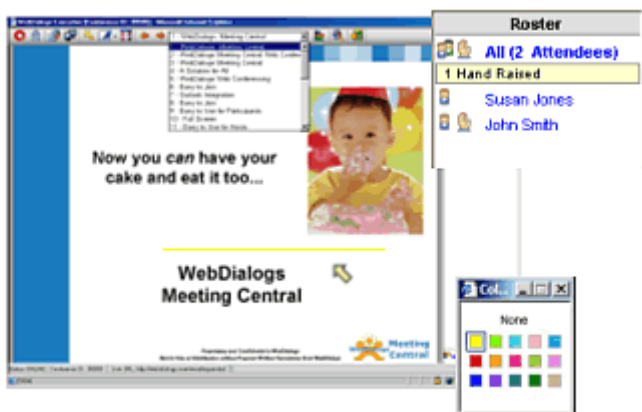
また、サービス利用にあたってのテクニカルサポート窓口は、フリーダイヤルで提供され安心してユーザーがウェブ会議セッションを行えるサービス体制を整えている。

次に、Meeting Central のログイン画面やセッション画面などについて説明する。

まずは、Meeting Central は、ウェブブラウザベースのインターフェイスであるため、下図のページからまず会議セッションにログインする。



まずは、ウェブ会議セッションへのログイン画面から、コンファレンス ID 番号、名前、会社名、メールアドレスなどを入力して会議セッションに入室する。その際には、会議のホスト(モデレータ)も、PIN番号(暗証番号)を入力してセキュリティを保つ。そして、「Log-in」のボタンを押して、会議セッションに入室できる。



上図がセッション画面(ホスト側)で、プルダウンがナビゲーション(共有ファイルのページめくりなどを行える)、Roaster(上図右上)のところに見えるのが参加者を表示、右下は、アノテーション(蛍光ペンの色選択)、画面内の黄色の矢印はポインタを示す。

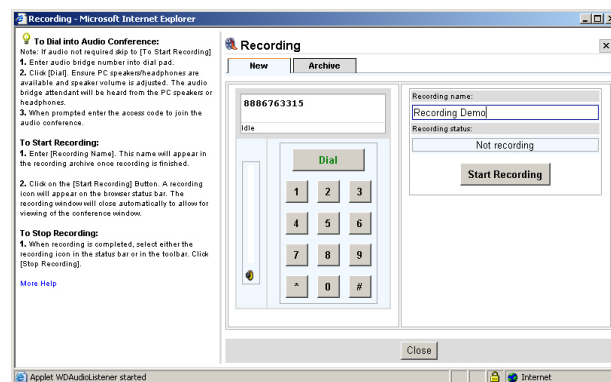
Roasterの画面内に表示される参加者個別あるいは全員を選択して、サブメニューを表示させ、チャット、ファイル送信、プレゼンター交代、リモートコントロール、切断などの機能が使える。

投票については、参加者に対して質問をして、それに対してリアルタイムに結果を表示、会議のホストは同時にメールでも集計結果を得る。

会議セッションが終わると、会議セッション内容について簡単にまとめたサマリーをメールで配信も可能。

共有するドキュメントファイルなどは、「Publish To Share」の画面で、会議セッションの前、あるいは会議セッション中にファイルをアップロードする。アップロードができるファイル数は、10ファイルまで。PowerPoint、Word、Excel 各種のファイルをアップロードできる。

共有セッションのレコーディングは、下図のレコーディングの画面で操作する。ホスト画面の上部にあるホストツールバーにある、レコーディングのアイコンをクリックするとレコーディングが開始する。



音声部分は電話会議で行うため、上図画面にて、まず音声会議サービスヘダイヤリングして電話会議に接続する。そうすると、レコーディングは、共有画面だけでなく、電話会議の音声についても、同期してレコーディングできる。

## WebInterpoint について

WebInterpoint は、事前の予約が不要なタイプで、アドホック的にその場で会議セッションを行えることを想定して開発したウェブ会議システム。

誰でもが使えるシンプルで使いやすいユーザーインターフェイスに、導入費用はリーズナブルな価格帯で提供している。1対1のウェブ会議セッションから、1対100強までの大規模人数のウェブ会議セッションにフィット。プロビジョニング、パスコード機能、ブランディング、課金機能などを統合している。

Meeting Central のベース機能を提供している。

### 【主な機能一覧】

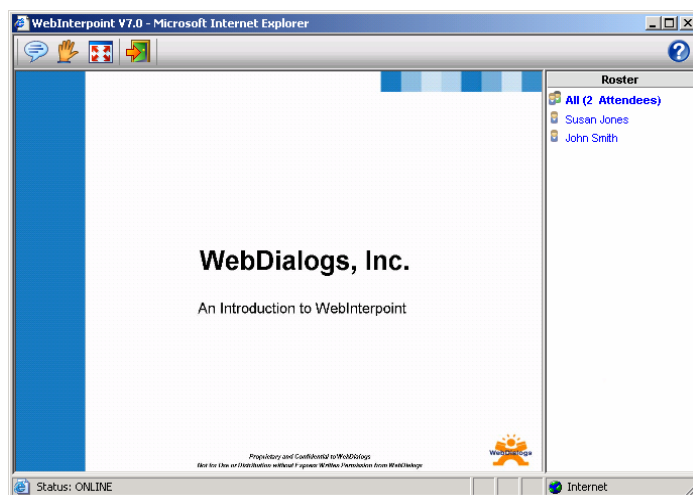
- －ウェブベースのアプリケーションデスクトップショートカット
- －多人数発表者/ ボタンパス機能
- －アプリケーション/デスクトップ
- －共有機能
- －Q&A モデレーター
- －ローカライズサポート(日本語対応済み)
- －チャット(参加者&ホスト)
- －自動レコーディング
- －ウェブベース・アドミニストレーション & API
- －Email サマリーレポート&ビリングメモフィールド
- －参加者ダウンロード\*禁止機能
- －音声コールコントロール機能
- －インテグレーション
- －会議室ロック機能
- －スマートスクローリング
- －リモートコントロール
- －Outlook インテグレーション
- －挙手機能、マーカーツール及び
- －ポインタ機能
- －ファイル転送機能
- －SSL 暗号化
- －投票機能
- －カスタムツールバー
- －音声キャスト

WebInterpoint は、「WIPOne」と「WIPPro」の2種類を提供するところにより、パートナー企業が WebInterpoint を使った

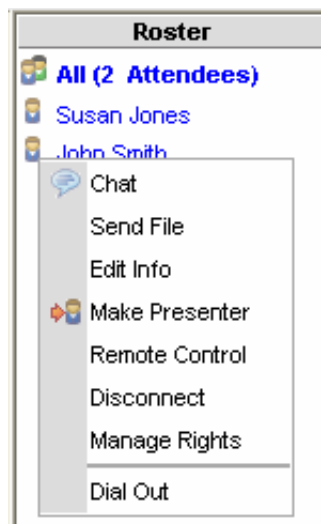
ウェブ会議システムを構築する場合のさまざまなニーズに対応することが可能。

WIPOne は、使用するための事前のトレーニングはほとんど不要な基本機能を搭載したシステム。プレゼンテーション表示やナビゲーションの基本機能にしばった。低コスト導入が可能なバージョン。

WIPPro は、基本機能と投票機能に加え、より高機能化したバージョンのシステム。アノテーション、チャット、アプリケーション/デスクトップ共有、アウトルックプラグイン、リモートコントロール、自動レコーディングの機能を搭載。

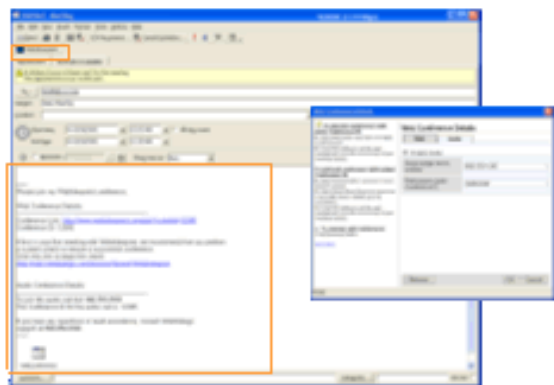


参加者側の画面。ホスト側は、前ページのホスト画面と同じ。



Roaster r (右側参加者表示)は、参加者が会議室セッションに入ってくると表示され、退室すると Roaster 画面から消える。参加者情報は、名前、メールアドレス、会社名などを表示可能。参加者情報は、参加者データベースに格納し、使用に応じて課金システムにて課金処理が行える。





上図は、マイクロソフト Outlook での会議参加者への会議セッション開催通知メール。メール本文に会議セッションの番号とリンクが表示され、そのリンクをクリックすると、右側の画面が表示される。その画面には、コンファレンスID番号と電話会議用の電話番号が表示されており、「OK」ボタンで会議セッションに入れる。

WebInterpoint Brand Manager	
Property	Value
Provider Code:	WDIG
Brand Name:	WebInterpoint
Product Name:	WebInterpoint v6.3
Company Name:	WebDialogs
Host Alias:	Host
Powered Alias:	Conference ID
Guest Alias:	Subscriber ID
Item General Description:	(Billing Memos (optional))
Item Field 1 Label:	Memo 1
Item Field 2 Label:	Memo 2
Info Page URL:	
*Join Page URL:	http://www.webinterpoint.com/demo/default.asp
*Host Join Page URL:	http://www.webinterpoint.com/demo/default.asp
*Hot Published URL:	[brands/WDIG/WebInterpoint/v6published.html
Web URL:	[brands/WDIG/WebInterpoint/web.html
Event URL:	
Administrator Help URL:	http://www.webinterpoint.com/documentation/admin/brand-WebInterpoint
Administrator Support E-Mail:	support@webdialogs.com
Administrator Support URL:	
Copyright Text (HTML):	© WebDialogs
Download / Upgrade URL:	[brands/WDIG/WebInterpoint/WebInterpoint_install.exe
Event Info:	WebInterpoint Seminars
Event URL:	http://www.webinterpoint.com/seminars
Home Page URL:	http://www.webdialogs.com
Logo URL:	[brands/WDIG/WebInterpoint/logo.gif
Product Page URL:	http://www.webinterpoint.com/beta
Registration URL:	http://www.webinterpoint.com/beta
Session Report URL:	
E-Mail Invitation URL:	http://test.webdialogs.com/brands/WDIG/WebInterpoint/emailinvite.x
Admin StyleSheet:	[brands/WDIG/WebInterpoint/default.css
StyleSheet URL:	test/StyleSheet

WebInterpoint をベースに、WebDialogs 社のパートナー企業がそれぞれカスタマイズしてウェブ会議を提供する場合の「Brand manager module」(上図)がある。

この機能を使用すれば、機能毎に必要な機能、不必要な機能とスイッチのごとくOnとOffができる。また、ウェブ会議のユーザーインターフェイスのルックアンドフィールの部分についても、パートナー独自のインターフェイスや、カスタマイズが可能。プロビジョニングと課金システムとのシステ

ム連結の部分でもシームレスな統合が可能。

さらに、WebInterpoint は、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェイス)を提供、システム的设计やサーバーの設置まで実施。

設置後のサポートとしては、トレーニング、オンライン・テクニカル/マーケティング・ドキュメンテーション、テクニカル・サポート・トレーニング、メンテナンスシステムアップグレード、リモートでパートナー企業がネットワークをモニタリング、WebDialogs 社が、同じリモートでウェブ会議システムのソフトウェアをモニタリングするなどのサポート、ファイアウォールの対処、アドミニストレーター機能で、24時間365日のシステム監視など設置後のシステムが万全に運用されていくためのバックアップを十分な形でサポートする。

( 終わり )

#### 連絡先

WebDialogs, Inc. (米マサチューセッツ州)

Bala Sridhar

Executive Vice President of Business Development,  
Founder

(創業者兼事業開発担当エグゼクティブ・バイス・プレジデント)

Email: [sri@webdialogs.com](mailto:sri@webdialogs.com)

北米 TEL. 1.877.932.3547

WWW. <http://www.webdialogs.com>

WebDialogs 企業説明資料

<http://cnar.jp/WebDialogs-j.pdf>

Unyte 説明資料

<http://cnar.jp/unityte.pdf>

#### イベントショートレポート

IP-TV 会議システム トップ3メーカー結集

ポリコム/タンバーク/ソニーの最新商品を一挙に公開

日時:平成18年4月12日(水)13:30 ~

会場:株式会社大塚商会本社ビル

主催:株式会社大塚商会

協力:ポリコムジャパン株式会社/タンバーク日本支社/  
ソニーマーケティング株式会社

大塚商会とテレビ会議トップメーカー3社によるセミナーが4月12日開催され、製品紹介プレゼンテーションや遠隔地とのテレビ会議接続デモが、ソニーマーケティング、タンバーク、ポリコムジャパン、大塚商会の順番で行われた。定員

以上の参加者でセミナーは盛況だった。

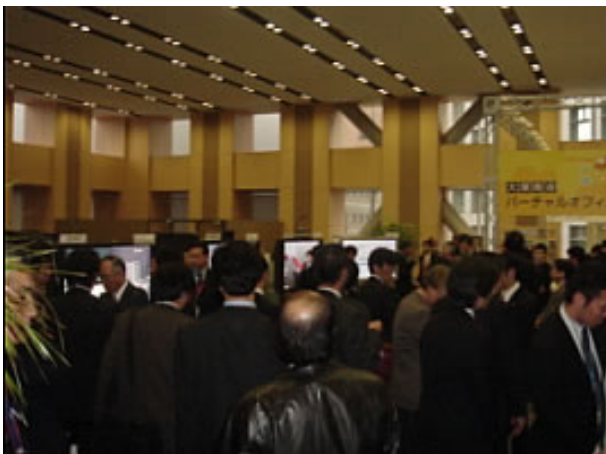
CNA レポート編集長橋本も市場動向、利用トレンド、導入のポイントなど講演させていただいた。

セミナー会場の外では、セミナーセッション後各社製品の展示、デモ、来場者からの個別相談などに各社対応。

販売会社大手大塚商会と、ビデオ会議大手3社合同が今回の成功の理由だったと関係者では見ている。



セミナー会場



製品展示及びデモ

#### ラドビジョン・ソリューション・セミナー 2006 : 金融向けセミナー

日時：2006年4月18日(金) 13:00 - 17:30  
会場：東京コンファレンスセンター品川  
主催：ラドビジョン・ジャパン株式会社

ラドビジョン・ジャパンの最新技術と製品紹介を行うセミナーが開催された。セミナーでは、同社からの発表以外には、金融商品窓口販売支援システムの紹介としてトレードウイン

株式会社、IP 多地点接続サービスと金融業界における導入事例紹介を NTT ビズリンク株式会社から、そしてビデオ会議システム導入にあたってのポイントとして、安川情報システム株式会社、それぞれからの発表があった。



セミナー会場

#### セミナー・展示会情報

##### ビジュアルコミュニケーション 2006

同時開催：IP テレフォニー&ケータイソリューション 2006

会期：2006年5月18日(木)～19日(金) 10:00～17:30

会場：サンシャインシティ 文化会館(東京・池袋)

主催：日経 BP 社

\*テレビ会議関係の展示会&セミナー。(旧：テレビ会議フォーラム)

詳細：<http://expo.nikkeibp.co.jp/iptel/vc/index.shtml>

##### <日中同時開催>中国 IT セミナー2006 開催のご案内 ～ 中国市場で成功するための Communication & Security ソリューション～

日時：2006年6月2日(金) 15:00～

会場：KDDI 株式会社 20F 大会議室  
(東京都千代田区飯田橋 3-10-10 ガーデンエアタワー)

主催：KDDI 株式会社、ソニーマーケティング株式会社、  
日本ヒューレット・パッカード株式会社

詳細：

<http://www.sony.jp/products/Professional/index/information/20060501.html>

#### 編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

編集長 橋本啓介